

ふしぎがいっぱい（5年）「大地をけずる水」利用案

筑波大学附属小学校 鷲見辰美

学習のねらい

雨の降り方によって、流れる水の速さや水の量が変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面があることを理解できるようにする。また、流れる水には、削ったり、運搬したり、堆積したりする働きがあることを理解する。

番組利用のねらい

本番組は、台風や大雨による増水で、川の水の流れや川岸が変化する様子を見ることができる。番組を視聴することで、川が増水して、大地を削る力や土砂を運ぶ力が一気に強くなることを気づかせたい。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次	時	学習活動	教師の支援
第 二 次	増 水 し た 川	<p>台風が来たり大雨が降ったりしたとき、川の様子はどのように変化するのだろうか。</p>	
		<p>○これまでの体験から、台風や大雨の後の川の様子を予想してみる。</p> <p>実験 2</p> <p>○砂山に作った川に、量を変えて水を流してみる。</p> <p>○水が増えることにより、水の勢いが変化する様子、削られたり、運ばれたり、積もったりする土砂量や様子の変化を観察する。</p> <p>○ノートに記録する。</p> <p>◆「大地をけずる水」番組視聴(10分)</p> <p>○番組を視聴する。</p> <p>○大雨で川が増水して、川の水の流れや川岸の様子が変化する様子を知る。</p> <p>○増水により、大地を削ったり、岩石を運んだりする力が強くなる様子を見る。</p>	<p>◇これまでの体験やニュースなどで見たことを思い出すようにする。</p> <p>◇砂山に水を流して、川を作る。</p> <p>◇ペットボトルやバケツを用意して、一度に流れる水の量を変化させて、水を流すようにする。</p> <p>■地形を変える水の流れ</p> <p>■水の量と土を削る力の関係</p> <p>■土地をけずる川</p> <p>■台風と川が増水</p> <p>■雨の強さと実際の被害</p> <p>■川の働きでできた地形</p>
		<p>台風が来たり大雨の時には、一気に川は増水し、水の勢いが強くなり、大地を削る力や土砂を運ぶ力が強くなる。</p>	